

(別紙様式)

中山間ふるさと・水と土保全対策事業 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業実施計画

計画期間：令和2年度～令和6年度

(令和2年度)

計画内容

1. 事業実施の基本方針
2. 事業計画
3. 事業実施の成果目標と実績
4. 事業評価と対応

埼玉県

1. 事業実施の基本方針

目標年度	令和6年度
現状と課題	本県の中山間地域は県土面積の約1/3、林野面積の85%を占めており、水源のかん養や大気浄化、自然環境の保全など県民生活にとって欠くことのできない多面的機能を有している。これら多面的機能は、中山間地域に暮らす人々のたゆまない努力によって維持されている。しかし、中山間地域の多くは生活環境や産業基盤が平野部と比べて極めて不利な状況にあるため、人口の減少や高齢化が進行しており、農業をはじめ集落機能の維持に支障をきたしている。
事業実施の基本方針	中山間地域の有する多面的機能の恩恵は県民が広く享受するものであることから、県の5か年計画である「希望・活動・うるおいの埼玉」や農林部が策定する「埼玉県農業・農山村振興ビジョン」との整合性を図りながら、多面的機能の保全に資する地域活動の支援、人材の育成、都市・農山村の交流などの取組を行うこととする。
計画後の目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域のコミュニティーが機能し、人々が明るく元気にいきいきと暮らしている。 集落機能を維持・活性化するための地域や経験を有するリーダーが育っている。 都市・農山村交流を通じて県民が中山間地域の有する多面的機能を理解している。

2. 事業計画

事業（取組）名	事業（取組）内容	達成すべき目標との関連	事業実施要綱上の該当項目	5ヶ年間の事業（量）内容					総事業費	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
ふるさと水と土保全対策事業（ふる水と土基金）調査研究事業	個々の中山間地域が抱える諸問題を解決するため、企業や大学生の持つ新しい視点や専門知識などを活用するとともに、農業や集落機能の維持・活性化、農業技術の確立を図るための調査研究を行う。	①	ふる水第3-2-(1)	企業や大学生と連携した中山間地域を支援する新しい調査・研究などの取組を3地域で実施し、5カ年で12地域の取組を実施する。（ただし令和2年度については新型コロナウイルスの関係で新規地区の発掘は中止する）					55,000	
ふるさと水と土保全対策事業（ふる水と土基金）研修事業	中山間地域の住民活動を支援するため、地域の住民が新たな取組に参加しやすい機運を醸成する研修を実施する。	②	第3-2-(2) 第3-2-(3)	中山間地域の住民のほか、中山間地域を支援する方達も対象とした地域住民活動を活性化する研修会等を年1回実施する。					1,500	
ふるさと水と土保全対策事業（ふる水と土基金）啓発普及事業	都市住民に対して中山間地域の農業について理解増進を図るため、中山間地域の農山村のもつ多面的機能や特産物の紹介を行う。	③	第3-2-(3)	中山間地域の農業の紹介や多面的機能の理解増進のための啓発・普及を年に3回実施する。					7,500	
ふるさと水と土保全推進事業（棚田基金分）	棚田等の有する多面的7機能の発揮と地域住民活動の活性化を図るため、都市住民等の保全活動への参加や住民組織が行う保全活動等の促進に資する事業を行う。	④	棚田第3-2-(1) 第3-2-(2) 第3-2-(3)	都市住民が参加するイベント等を活用して棚田地域に関する情報を発信しながら、地域住民活動の支援体制を強化する。					2,200	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
中山間ふるさと・水と土保全対策事業（ふる水と土基金）			計画事業費 (実績額)	12,800 (1,623)	12,800	12,800	12,800	12,800	64,000	
中山間ふるさと・水と土保全推進事業（棚田基金）			計画事業費 (実績額)	400 (288)	450	450	450	450	2,200	

3. 事業実施の成果目標と実績

達成すべき目標	指標	基準値	目標値	年度ごとの実績					達成度	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
① 企業や大学生と連携した中山間地域への支援	新規取組支援地域数(地区)	10地区	12地区	0地区	3地区	6地区	9地区	12地区		5年間の累積
② 地域住民活動の活性化に関する研修会の開催	研修会開催数(回)	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回		
③ 中山間地域の農業の紹介や多面的機能の理解増進のための啓発・普及	啓発・普及活動回数(回)	15回	15回	3回	3回	3回	3回	3回		
④ 棚田地域における住民活動の活性化	活動組織数(団体)	1団体	1団体	1団体	1団体	1団体	1団体	1団体		

4. 事業評価と対応

達成すべき目標	事業実績の評価		備考
	外部有識者の所見	所見を踏まえた改善方針	
① 企業や大学生と連携した中山間地域への支援	本事業が地域に還元されているかの効果検証し、プログラムの骨太化を検討していくべき。	事業の効果検証の手法を検討する。	
② 地域住民活動の活性化に関する研修会の開催	意見なし	特になし	
③ 中山間地域の農業の紹介や多面的機能の理解増進のための啓発・普及	意見なし	特になし	
④ 棚田地域における住民活動の活性化	意見なし	特になし	